

まち議会だより



P 6

P 10

P 11

町政について **5人かー般質問**

議会報告 & 意見交換会開催のお知らせ

ALT のみなさんに聞きました



No.128

2026年2月1日発行

12月定例会

松前町
議会中継
[録画]



令和7年度一般会計補正予算（5回目）

1億2925万円を増額

予算決算

補正予算を
チェック①

県営事業負担金

92万円

- ・県道改良整備

県営事業負担金（港湾）

2542万円

- ・松前港の管理
防波堤工事、放置艇対策など
5つの港湾事業に対する負担金



- 問** 県営事業負担金について、総額いくらで、町の負担金はいくらか。
- 答** 条例に基づき工事費を一部負担し、県からの委託を受け管理するもの。総事業費は1億1226万円に対して町の負担額は2542万円となる。

小中学校体育館空調整備

債務負担上限 4960万円

- 問** 各校の体育館の面積は異なるのに、同じ設計費なのはなぜか。
- 答** 国の示している図面目録の設計基準に基づき設計しており、必要となる図面枚数を基準に費用を算定しているため。



第5分団消防詰所の建設に向けた工事設計着手

810万円



- 問** 第3分団設計費用より高くなっているのはなぜか。
- 答** 第5分団は造成の設計が別途必要となるため。

文化センター管理

債務負担上限 8230万円

- 問** 文化センターの管理は、PFIの導入を考えていたが応募がなかったとのこと。10年間のPFIによるコストと比較して、来年1年間の指定管理の方が安くなっているのはなぜか。
- 答** PFI事業の債務負担には、物価高騰による増額や指定管理にはなかった内容等の金額が見込まれているため。

教育支援センター整備

260万円

- ・不登校児童生徒の支援教室、子どもや保護者の相談窓口、子どもの居場所などの整備



旧 古城幼稚園

豊かな暮らしへの環境づくり

老人ホーム入所措置

551 万円

- ・養護老人ホーム入所
(和楽園 26 名 江南荘 4 名)

子育て支援
私立保育園委託

1652 万円

教育・保育給付

1344 万円

- ・認定こども園等保育給付であり、
教育保育給付制度に基づき適正
に給付

子ども医療費助成

2640 万円

妊婦のための包括支援

44 万円

- ・妊婦等包括相談支援を含む妊婦
のための支援給付率 100%目標



不妊治療助成

57 万円

ひとり親家庭医療費
助成

467 万円

物価高対応子育て応援手当

1 億円

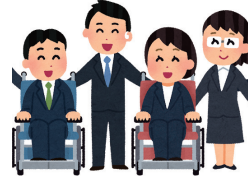
- ・物価高の影響を強く受けている子育て
世帯を応援する観点から手当てを給付
(子ども 1 人当たり 2 万円)

※この予算は、右表の一般会計補正予算に
含まれる。

障がい者（児）支援
自立支援給付

4540 万円

- ・共同生活援助、就労継続支援



障害児通所給付

3238 万円

- ・療育を受けるための児童発達
支援、放課後デイサービスへ
の通所

問 利用される方のアンケートや聞き
取りは行っているか。

答 このサービスを受けるにあたって
は、相談支援をする専門の職員が、
本人はもちろん家族のアセスメン
トをして目標を立て常に検証して
いる。

障害者医療

1205 万円

その他の補正予算

国民健康保険特別会計	4261 万円
介護保険特別会計 保険事業	223 万円

追加議案

職員の給与に関する条例等の一部改正

職員等の給与改定

補正予算

一般会計（6 回目）	1 億 7494 万円
国民健康保険特別会計	96 万円
後期高齢者医療特別会計	64 万円
介護保険特別会計 保険事業	405 万円
介護サービス事業	51 万円
水道事業会計	149 万円
下水道事業会計	104 万円

予算決算

補正予算を
チェック②

笑顔で暮らせる健康づくり

水道事業給水条例及び下水道条例の一部改正



- ・災害その他非常の場合、他の市町などから指定を受けたものであっても工事等を行わせることができるようにするため

問 大規模災害時に多くの外部業者が応援に来た場合、どのように業者の認定や管理を行い、緊急時の対応を行うのか。

答 国や県、水道協会等が応援業者を取りまとめ、そのリストを町が窓口やホームページなどで公開することになる。

総合文化センター等の指定管理者の指定期間の延長

問 PFI事業として実施することが適当でないと判断された場合、事業の取り消しについての考え方は。

答 検証が終わった段階で、PFI事業として実施が困難であると判断された場合に取り消す手続きを行う考えで、決定事項の公表は要綱に基づきホームページで行う。



旅費などの規定の改正

- ・宿泊費の上限を引き上げ、経済社会情勢の変化に対応するほか、町費の適正な支出を図るため
- ・対象は、特別職・議員・職員・消防団員



全て慎重に審議し、
いずれも可決しました。

指定管理って？PFI事業って？



指定管理とは、自治体が設置した公共施設の管理・運営を、民間企業やNPO法人などに任せる制度で、地方自治法に基づきます。使用許可や利用料金の徴収など運営の権限を委ね、民間のノウハウでサービス向上や経費削減を図ります。

PFI事業とは、公共施設の整備や運営を民間の資金・技術・経営力を活用して行う手法で、施設の建設から維持管理、運営までを一体的に担う点が特徴です。

総務産業
建設
文教厚生

暮らしを支える改正を

慎重に審議し、
可決しました。



筒井地区雨水貯留施設整備工事 変更請負契約の締結

変更額 6662 万円増額

○地下水位低下工法の追加、薬品及び汚泥量の増加、
濁水処理日数の延長等を行うため

11月6日に開催された
第3回臨時会では、議案
が1件提出されました。

第3回臨時会

一部事務組合（令和6年度決算認定）

伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合 和楽園

総額 2 億 9087 万円

- 分担金及び負担金 1億3135万円
(内松前町分 6257万円)
- 出身地別措置者数(令和7年12月1日現在)
松前町 … 25人 伊予市 … 5人
砥部町 … 4人 組合外 … 12人



伊予消防等事務組合 各消防署及び聖浄苑

総額 24 億 7974 万円

- 分担金及び負担金 19億7064万円
(内松前町分 5億5559万円)
- 聖浄苑 令和7年2月28日完成



伊予市松前町共立衛生組合 塩美園

総額 2 億 2167 万円

- 分担金及び負担金 2億 701万円
(内松前町分 1億1046万円)



伊予地区ごみ処理施設管理組合 伊予地区清掃センター

総額 4 億 6316 万円

- 分担金及び負担金 3億9280万円
(内松前町分 1億7300万円)



一般質問



※すべての質問を掲載しているわけではありません。
詳しく知りたい方は、QRコードを読み取り、録画中継をご覧ください。



村井 慶太郎
議員

近隣市町と比較して、個人負担が大きいことは認識している。町が全額負担で配水管を布設するのは、住民の利便性の向上に



問 近隣市町では特設配水管布設工事制度があるが、本町の対応は。
答 特設配水管布設工事制度は、既存の配水管が近くにない地域で、将来の給水需要が見込まれる場合、町が道路内に新たに配水管を布設する制度。本町では昭和40年代から平成初期に実施した。

整理した上で、制度の見直しを検討する

特設配水管布設工事
制度の見直しは

今がチャンスだから、もっと前向きに。

整備は、新しい地方経済・生活環境創生交付金や地域活性化事業債など、町の一般財源に負担を生じさせない検討を進めている。アリーナは、多額の整備費や広大な用地の確保、長期の運営体制が必要となり、町単独で進められない。民間事業者による投資判断が不可欠である。

答 11月に設置した検討会で、種目、規模、整備手法など、整備に向けた基本的な方向性を整理している。この検討会ではアリーナに関する議論は行っていない。

問 アーバンスポーツパークとアリーナの整備について今後の展望は。

慎重に検討を進めている

スポーツエンター
テイメント構想の展望は

つながるが、水道事業の独立採算という原則、老朽管や施設の更新など将来に大きな投資が必要である。負担の公平性、水道事業の持続性状況を踏まえ、慎重な判断をする。

地域コミュニティの 存続に黄色信号？

相談窓口は町民課で
持続可能な地域作りに協力

問 地域コミュニティの代表格である町内会・老人会・子ども会などの運営が難しくなるケースが増えている。現状での方策は。

答 全国的な人口減少、高齢化、価値観の多様化などで地域活動の担い手不足が深刻化し、本町でも同様の問題が生じている。

今後は地域の主体性を尊重し地域任せにすることなく全国の先進的な取組を参考に、行政が伴走し、若い世代が無理なく関わることが出来る仕組みを整える。地域行事・組織を目的に応じて見直し、地域活動を側面から支援する体制、総合的な取組を進めて行く。



藤岡 緑
議員



大規模火災を防ぐ 消防・防火体制は

迅速な避難誘導と防火体制の
見直しは急務と考える

問 大分佐賀関で大規模火災が起きたが、本町にも住宅密集地や老朽空家の点在など共通する地域もある。強風・乾燥時には更なる被害拡大も考えられるが、現体制の見直しは。

答 今回の事例を教訓に火災を起さないための予防の徹底、発生時の迅速な初期対応、地域の互助体制の強化が重要と考える。次に、空家対策と延焼リスクの低減として危険性の高い空家の除却支援の強化、所有者へ指導、地域との協力体制強化、消防分団詰所の早期整備、高齢者への情報伝達、互助体制強化等、更なる防火体制の向上に取り組む。



日本消防設備安全
センターHPより

高齢化の進む佐賀関地区で人的被害が最小限だったのは互助の力によるところが大きく、学ぶべき点だ。

学校教育施設などの 整備は

学びの環境を最優先で、
整備を継続して行う

問 町民からアーバンスポーツ構想を進めていくのはよいが、その一方で学校教育施設の維持管理や備品などの整備は十分なのかと心配する声が私に届いているが。

答 今後も子どもたちの学びの環境を最優先に考え、必要な施設の維持管理を継続して行う。その上で、アーバンスポーツパークのような外部資金を活用してできる取組を別枠として推進し、町の将来に必要なそれぞれの投資について、財源構造や事業目的の違いを踏まえながら両立させたい。



曽我部 秀司
議員



問 私が現場にいた12年ほど前のこと。2月頃、用紙を使い切った。教育委員会に用紙の補充を要望したが、断られた。

また、日々の教育活動の中で必要な消耗品などが学校にない場合、仕方なく教員が自費で購入していることもあるのだが。

答 例えば、貯水槽は防災対策として、7割を国が補てんする起債が使えるのでできた。しかし、学校の場合はこういったものがなく、一般財源の中からやりくりしている。ふるさと納税も数年前と比べたら伸びてきたけれども、まだまだ財源不足の状態である。

その中でも、今直ちにできることはやっていきたいと考えている。

日々の教育活動に必要な消耗品費を少しでも上げることができないか。



独居高齢者福祉ネット ワークの今後は

多用なニーズに応じた柔軟な
支援体制の構築を検討する

問 見守り推進員の高齢化による
後継者不足があげられているが、
今後の方向性は。

答 現在、週一回の訪問により高
齢者の方々からは「安心につな
がっている」「心強い」といった
声が多く寄せられているが、従
来の訪問だけでは対応しきれな
い場面が生じている。本町とし
ては、訪問による見守りを大切
にしつつ、地域包括支援センタ
ーとの連携強化や、ICTを活用し
た見守りの導入など、誰もが安
心して暮らし続けられる環境づ
くりに取り組んでいく。



池内 邦仁
議員



特別養護老人ホームの 整備の進捗は

令和8年度中に開設予定



問 第9期介護保険事業計画で介
護老人福祉施設（30床）を整備す
るとあったが、進捗は。

答 整備を担う事業者が選定され
10月7日に愛媛県から社会福祉
法人の設立許可が下り、10月30
日に本町が開発許可を行った。
今後は、事業者と県が事前協議
を行い、申請書類を提出し、県
の審査を経て指定を受ける流れ
となる。

高齢者がいきいきと、共に暮ら
せるまちづくりに尽力を。

感染症の情報収集と 町民への伝達は

ホームページ等で伝達し
ている

問 町民の健康維持に向け、本町
の感染症の情報収集や対応は。

答 町民への

情報提供は、
窓口、ホー
ムページ、
広報紙に加
え、メール
配信などを
活用し、感

染予防や予防接種に関する周知
啓発に努めている。

今後、町民に必要な情報を
早期にお届けし、制度改正に対
応しながら、保健所、医療機関、
福祉施設等との連携をより緊密
に図っていく。



本町の公会計の取組は

今後も必要な改善を
随時検討していく

問 公会計を町財政運営にどう活
かしてかしていくのか。

答 本町では、総務省の統一的な
基準に基づき、固定資産台帳及
び財務書類を毎年度作成してい
る。

財務書類は外部委託により実
施している。データを日常的に
積み上げる日次や月次処理、財
務諸表の内製化といった高度な
運用は実施できていない。公会
計データの活用についても十分
とは言えない。

公会計情報は町の行財政運営
をより客観的に分析し、持続可
能性を高めるための重要なツ
ールであり、活用の可能性を検討
していく。



影岡 俊範
議員



本町はこれからだ。
先進事例も今日に至るまでに
は、10年の試行錯誤の努力が
あったのだから。

アンケート集計

2024.2月号～2025.11月号

- ① 一般質問、予算決算関係、表紙、インタビュー、特集（町長からの回答、意見交換会など）
- ② 「おおむね良い」が多数
- ③ ◎子育てや介護など身近な話題が多い。
◎写真やイラストが多く、興味をもって読むことができる。
◎シンプルで見やすい。
- ④ ▲「広報まさき」との違いがわかりにくい。
▲一般質問をテーマ別に掲載してはどうか。
▲専門用語が難しい。
- ⑤ ◎表紙とインタビューにより、仕事の内容や人柄まで分かり興味を持った。
◎笑顔が良い。
- ⑥ ◎「子ども議会」の掲載から、親子で読むようになった。
◎デザインがいい。
▲周りに読んでいる人があまりいない。

「議会だより」 どうですか？

毎回、広報モニターに
お答えいただいています

アンケート内容

- ① 興味を持った記事
- ② 「議会だより」の印象
- ③ 「かなり良い」「おおむね良い」点
- ④ 「あまり良くない」「良くない」点
- ⑤ 表紙
- ⑥ その他



第63回 四国地区町村議会議長会 研修会(松山市)に参加

令和7年10月8日

講演

〇どこへ行く日本の政治

青山和弘氏

〇混迷の時代に「幸せ言葉術」のすすめ
～アナウンサー人生で学んだ知恵～

三宅民夫氏



埼玉県朝霞市議会 研修受け入れ

令和7年10月22日

朝霞市議会議員6人が来庁し、総務産業建設常任委員会委員長・議長・産業課が BizG Masaki の取組について説明しました。

説明後、多くの質問が出されるなど、活発な意見交換が行われ、大変有意義な研修会になりました。



令和8年 松前町議会

議会報告 & 意見交換会 開催のお知らせ



今年も「議会報告 & 意見交換会」を開催します。
町民の皆さんのご意見・ご要望をより細かく収集できるよう2つの常任委員会
の内容に応じて、**2月14日（土）に午前の部と午後の部の2回開催します。**

- 午前の部：**町の基本計画や産業、道路・上下水道や河川などの
町の整備について（担当：総務産業建設常任委員会）
午後の部：医療、福祉、教育、子育て支援などの公的サービス
について（担当：文教厚生常任委員会）

興味・関心のある方に参加してください。なお、午前・午後の両方とも参加して
いただくことも可能で、大歓迎です。皆さん、多数のご参加をお待ちしています。

■日 時／令和8年2月14日（土）

午前の部【10：00～11：30（開場 9：30）】

午後の部【13：30～15：00（開場 13：00）】

■場 所／松前総合文化センター 2F ふるさと学習室

■内 容／①議会（委員会）からの報告

②意見交換

小グループに分かれたワークショップ形式で

テーマ：今困っていること、考えてほしいこと

今後、町や議会に期待していること

※出てきた意見・要望に対する回答を議会だよりに掲載（6月定例会後）

③意見発表し、全員で共有する



（昨年の議会報告会の様子）

ALTのみなさんに 聞きました

ALTのみなさんに仕事や町のことなどを聞いてみました。



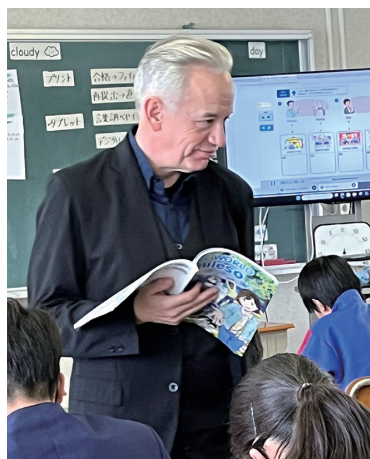
マイケル先生



ウィル先生



アンディ先生



学校における 仕事のやりがい

- ・自分がつくる英語教材は子どもたちにとって、楽しく効果的なので学びながら楽しむことができること
- ・授業以外にも休み時間や放課後など一日中子どもたちと遊んだり話したりでき、学校で働くのが大好き
- ・廊下で元氣よく挨拶されると心温まる
- ・幼稚園や小学生の子どもたちはいつも笑わせてくれておもしろい
- ・中学生は真面目で親切
- ・4歳から中学生になるまでずっと同じ子どもたちを教えることもある。時間の経過は寂しいけれど、成長を見て、やりがいがある

苦労や悩みは



- ・労働環境には恵まれていて、同僚のみんながサポートしてくれるが、日本語が流暢に話せないことが心配
- ・もっとコミュニケーションが取れるように日本語を勉強したい
- ・子どもたちは英語を話すことを恥ずかしがって話せないことが多い
- ・先生や子どもたちは英語を使うことを怖がることなくある
- ・学校で自分だけが英語を話すと孤独を感じることがある
- ・小学校と比べて中学英語は急にレベルが上がるため、どうやったらもっとうまく準備してあげられるか悩んでいる
- ・中学校の英語レベルが低い場合がある

松前町のようところは

- ・景色がいい（岡田から北伊予へ向かう畑と山の眺めが美しい）
- ・とても平和（授業の雰囲気も良く教えていて楽しい）
- ・クリーンで美しい
- ・便利（エミフル）
- ・松前の人はユーモアのセンスがある
- ・松山から遠くない（松山から自転車で通勤しているが良い運動になっている）

松前町の問題点は

- ・高齢化と少子化を心配している



子どもたちは、楽しく外国語に親しんでいました。これからもよろしく願います。



『町民の声』をお寄せ下さい

次号議会だよりの掲載の締切りは2月末です。
300字程度で必ず名前・住所・連絡先・
ペンネーム(希望する場合)をお書きください。
(投書多数の場合は、広報委員会で決定)

【宛先】〒791-3192 松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」係
◆ Fax 985-4148 ◆

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。

【次回定例会の予定】

3月2日(月)～18日(水)

一般
質問

3月9日(月)

インターネット
配信やってます



傍聴席

松前町議会を傍聴して

佐野 沙知

私は松前町出身で、現在は砥部町に住み砥部町議会議員1期目です。今回は1期生3名で松前町議会の一般質問を傍聴させていただきました。議員の皆さんが町の課題に真剣に向き合い、住民の声を反映させようと工夫されている姿に、改めて議会の

大切さを感じました。質問のテーマや組み立て方も多様で、町の未来を考える上で大変参考になりました。出身地である松前町がより住みやすい町になっていくことを心から嬉しく思います。そして松前町と砥部町は隣り合わせの町ですので、これからもお互いに学び合い、支え合いながら、住民の皆さんが安心して笑顔で暮らせる町づくりに努めていきたいと思います。

池内 邦仁 議員 (ホッケー公園体育館にて)

はげとるかべがよ
新しい体育館を早く
(議会だよりのNo.122、127)

好きなこと/ソフトバレーボール
ボウリング教室
好きな食べ物/焼肉(ハラミ、上ミノ)
好きな言葉/継続は力なり

重松 知之 議員 (自宅にて)

趣味/ダイエット、婚活
特技/口笛
好きな食べ物/豚太郎の焼き飯

議員のよこがお

(今号からつぎ号まで掲載)

編集後記

引き続き、広報委員会で副委員長をさせていただくことになりました。お役目をいただいたからには、町民の皆さんにより手に取っていただけるような広報づくりに努めてまいります。どうやったら町民の皆さんに伝わりやすくなるか、気軽に目を通していただけるか、という課題に向き合って工夫していきます。

しばらくとめていただきたき、ご意見・感想お待ちしております。

(池田 幸子)

議会広報常任委員会

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
渡部 恵美	池田 幸子	加藤 博徳	影岡 俊範	曾我部 秀司	池内 邦仁	重松 知之